



2026年3月期 第1四半期決算

RAV4 ADVENTURE

2025年8月7日
トヨタ自動車株式会社

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場（主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場）、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律・規制の変更およびその他の政府行為で、当社の事業に影響を与えるもの（特にリコール等改善措置を含む安全性、環境保全、自動車排出ガスおよび燃費効率に関する法律・規制および政府行為、ならびに関税およびその他の貿易政策）、ならびに現在・将来の訴訟やその他の法的手続き、当局手続きおよび調査
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- 有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

	第 1 四半期実績（前年同期比）	通期見通し（ 前回比 ）
営業利益	1.2兆円（△ 0.1兆円）	3.2兆円（△0.6兆円）
うち関税影響	△0.45兆円（△0.45兆円）	△1.4兆円（△1.2兆円）

（追加関税に関する前提）

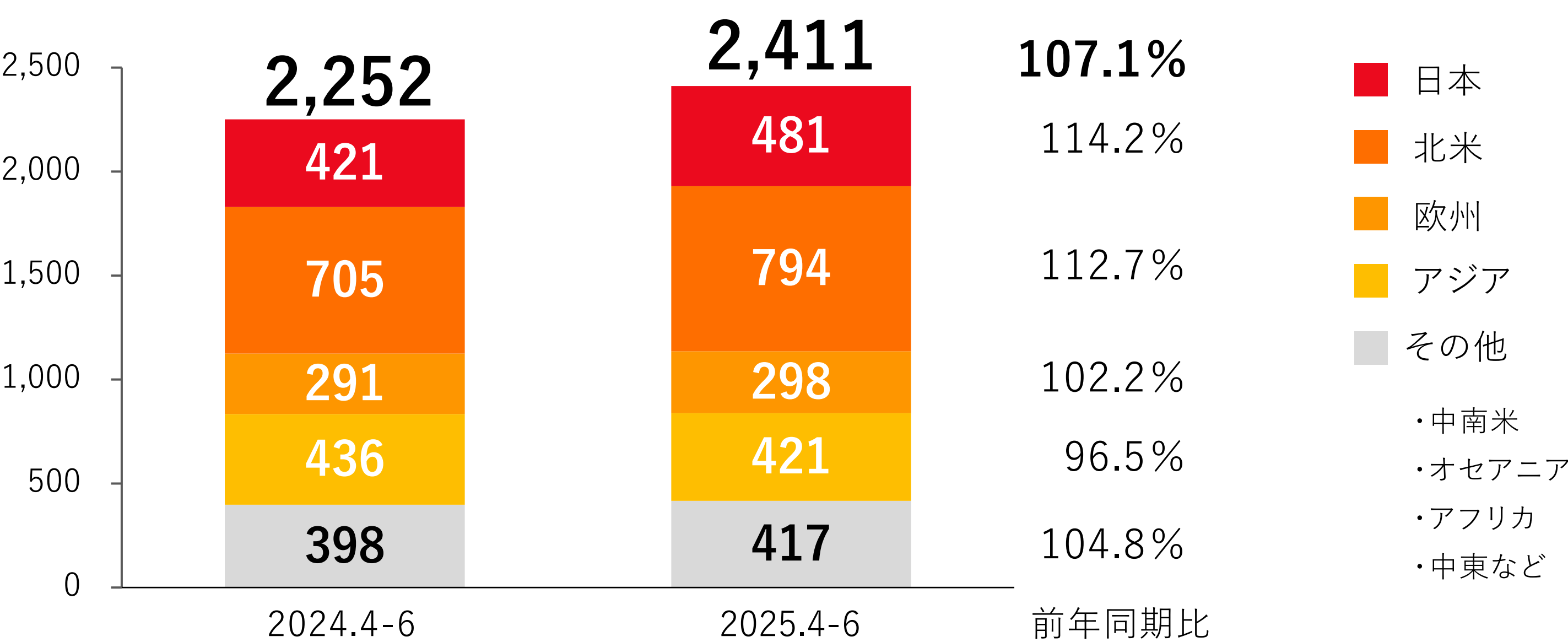
- ・ 日本輸出分 4 月～ 7 月：25％・ 8 月～ 3 月：12.5％（完成車および主要部品）
- ・ カナダ・メキシコ輸出分 4 月～ 3 月：25％（完成車および主要部品）
- ・ 仕入先が負担している関税や、米国生産の完成車・USMCA適合部品の減免措置等を一部含む

- 米国関税の影響等により、実績は減益、見通しは下方修正
- 厳しい外部環境の中でも、総合投資を進め、
台数増・原価改善・バリューチェーン収益の拡大などの
改善努力を積み上げ、マイナス影響を縮小
- 仕入先・販売店を含めた全てのステークホルダーの皆さまとともに
足場固めの成果を、生産性向上につなげる

2026年 3 月期 第 1 四半期 実績

連結販売台数

(単位：千台)



ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,491	2,643	106.1%
電動車 [比率]	1,075 [43.2%]	1,259 [47.6%]	117.1%
内、HEV	998	1,165	116.7%
PHEV	34	47	138.8%
BEV	43	47	110.4%
FCEV	0	0	37.6%
グループ総販売台数	2,636	2,829	107.3%

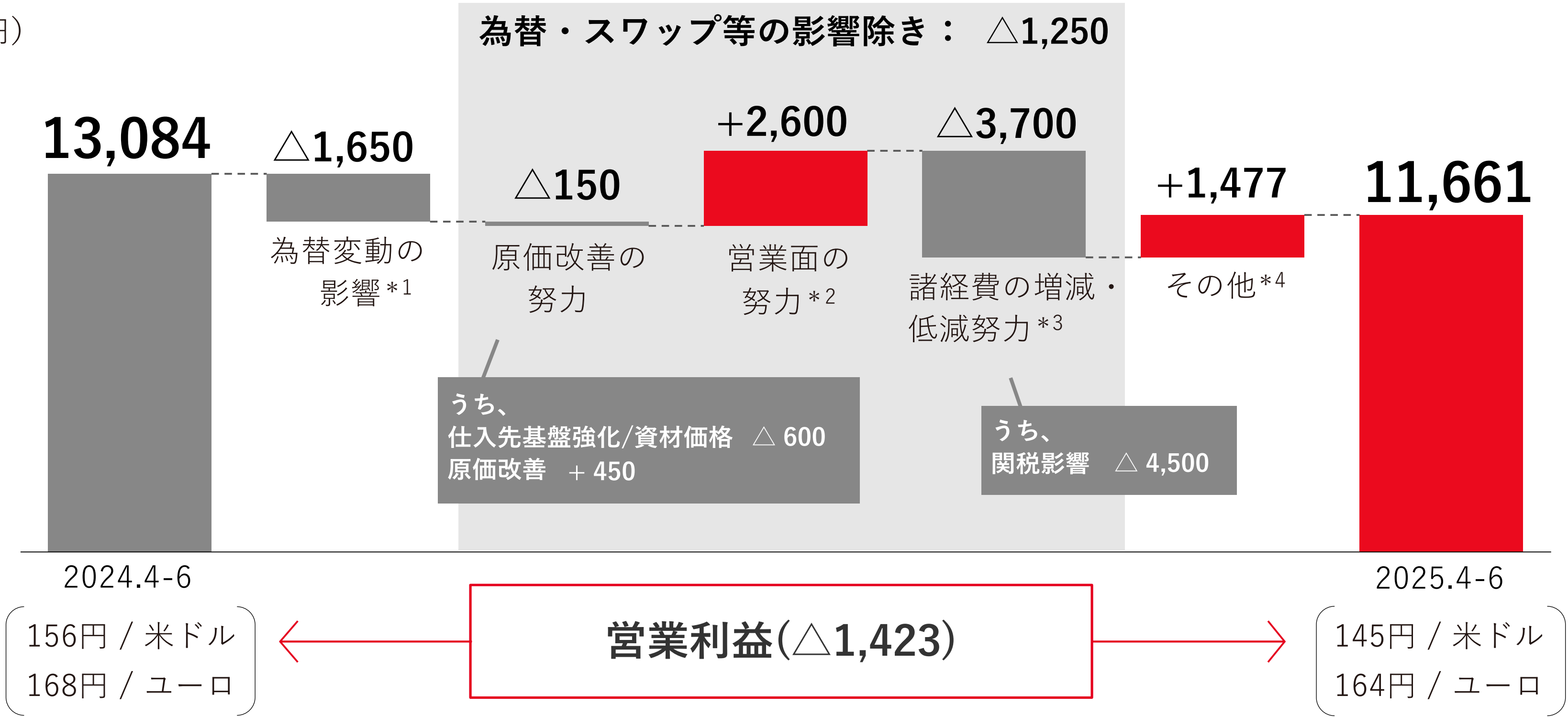
連結決算要約

(単位：億円)		2024.4-6	2025.4-6	増減
営業収益		118,378	122,533	+4,154
営業利益		13,084	11,661	△1,423
営業利益率		11.1%	9.5%	
営業外損益		5,637	860	△4,777
持分法による投資損益		1,649	1,410*	△238
税引前利益		18,722	12,521	△6,201
親会社の所有者に帰属する当期利益		13,333	8,413	△4,920
当期利益率		11.3%	6.9%	
為替レート	米ドル	156円	145円	11円円高
	ユーロ	168円	164円	4円円高

* うち、日本966（前年同期比△334）、中国233（同+84）、その他210（同+10）

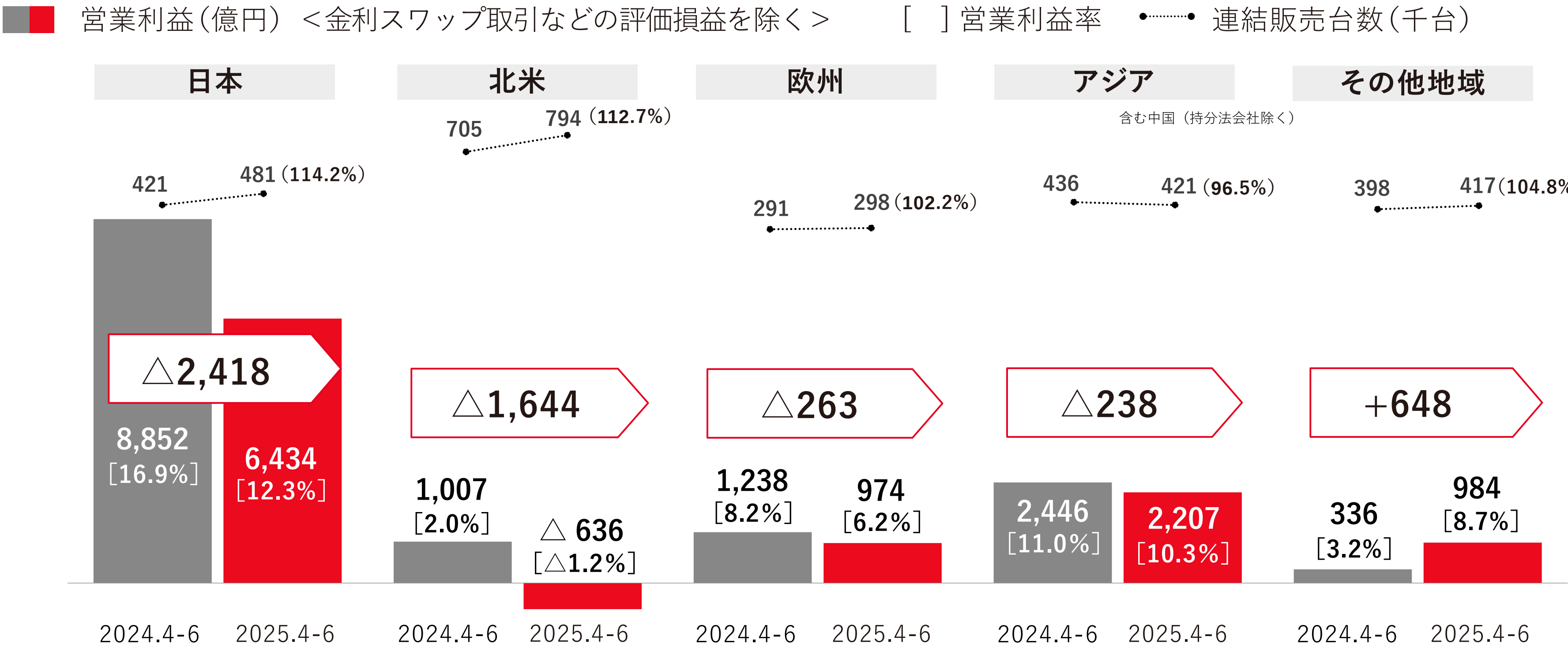
連結営業利益増減要因

(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	$\triangle 2,450$	台数・構成	+1,600	労務費	$\triangle 350$	スワップ等の評価損益	+434
（ - 米ドル	$\triangle 1,350$	バリューチェーン	+600	減価償却費	+50	インフレ会計等の影響	+415
（ - ユーロ	$\triangle 100$	（ - 金融事業	+300	研究開発費	$\triangle 450$	その他	+628
（ - その他通貨	$\triangle 1,000$	（ - 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+300	経費ほか	$\triangle 2,950$		
海外子会社の営業利益換算差ほか	+800	その他	+400				

所在地別営業利益



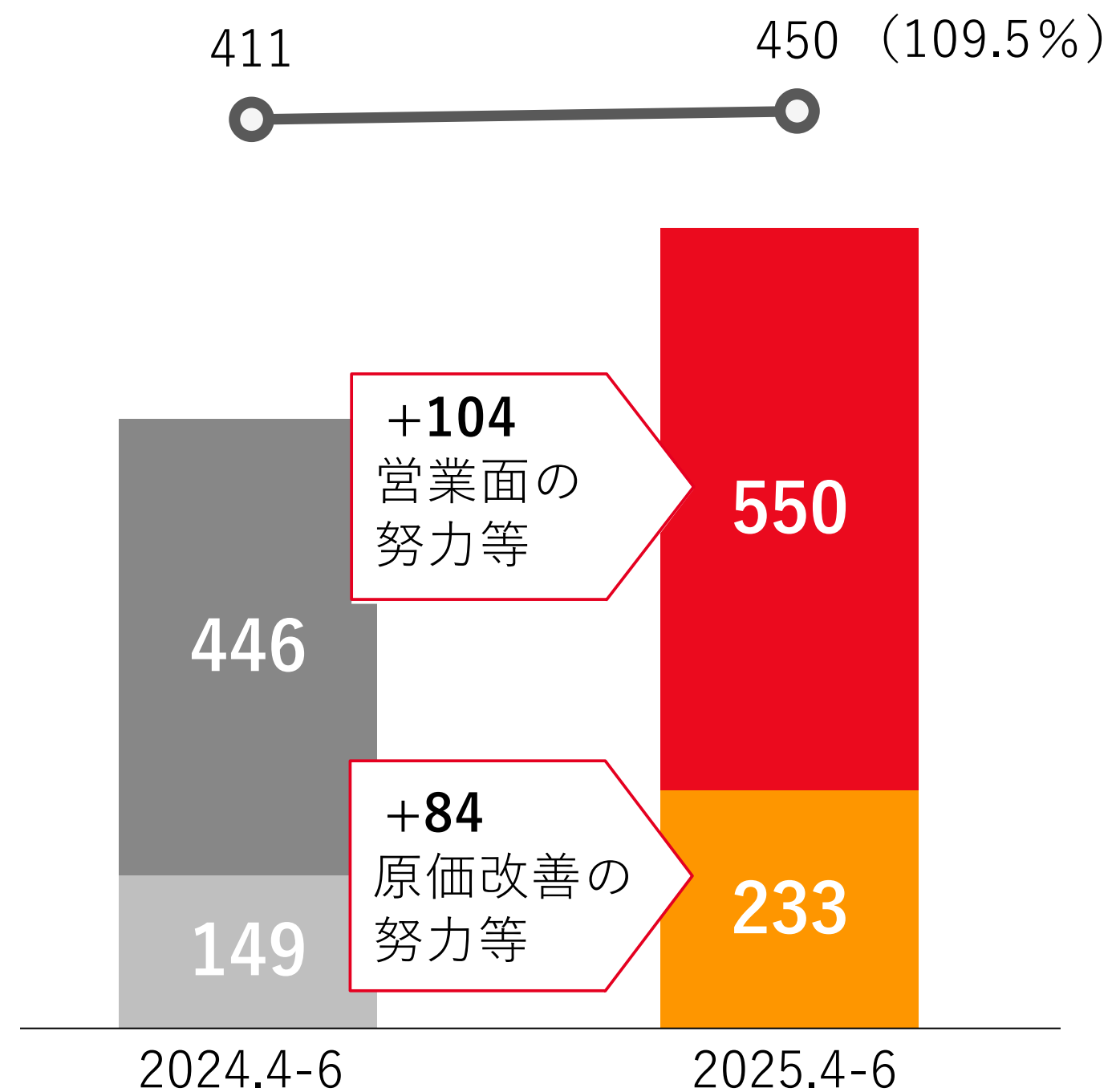
金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益(億円)

8,812	6,450	850	△211	1,246	969	2,459	2,157	417	940
-------	-------	-----	------	-------	-----	-------	-------	-----	-----

中国事業/金融セグメント

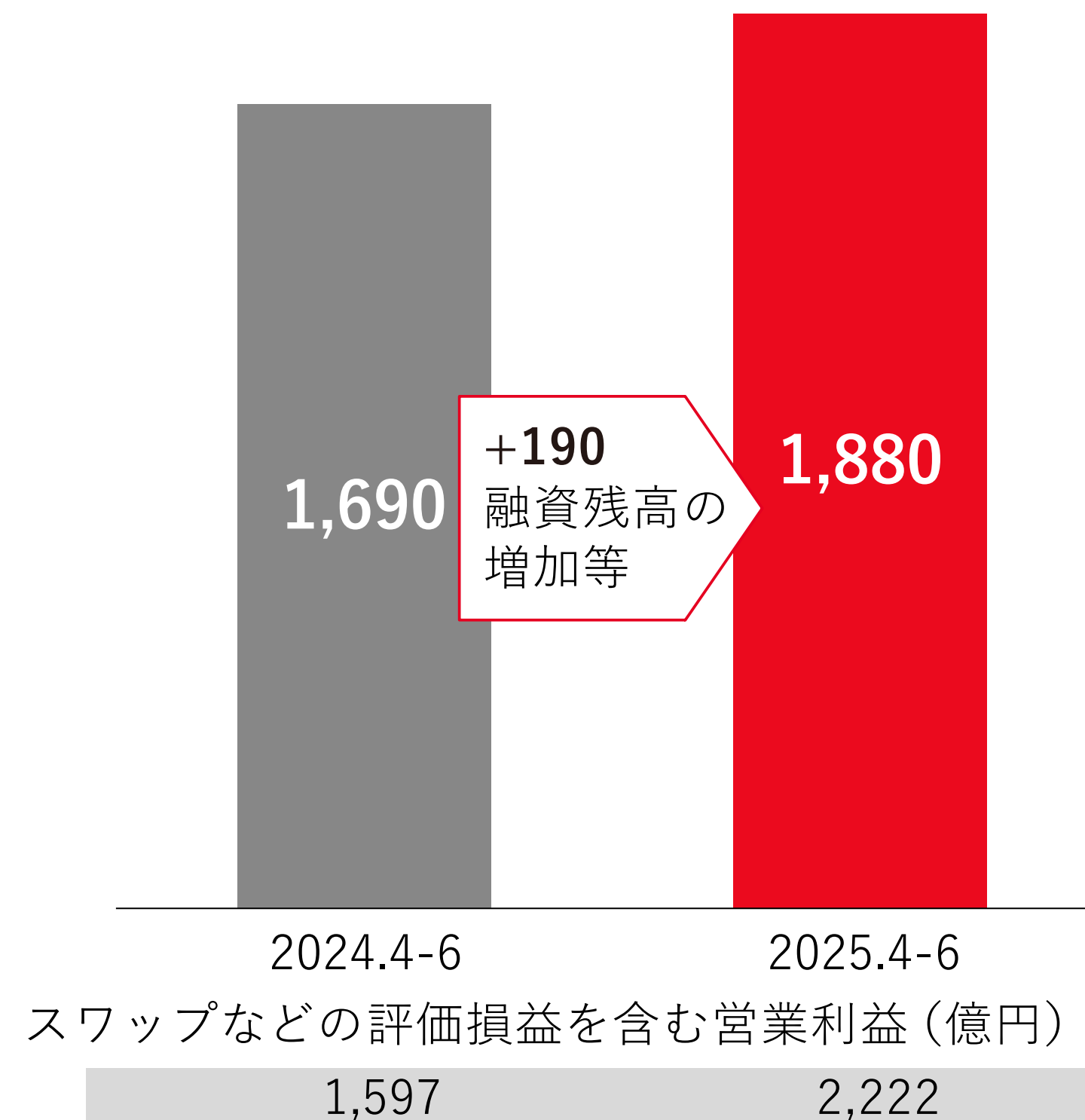
中国事業（ご参考）

- 連結子会社 営業利益（億円）
- 持分法適用会社 持分法による投資損益（億円）
- トヨタ・レクサス販売台数（千台）



金融セグメント

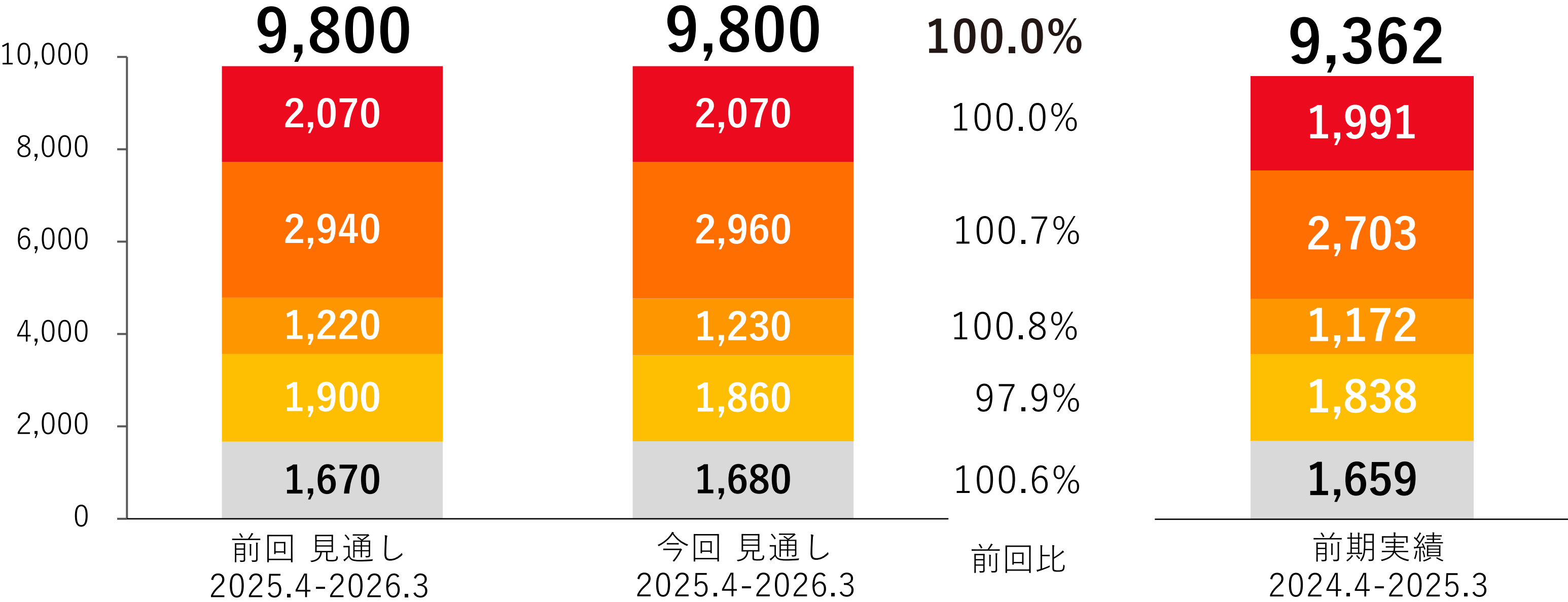
- 営業利益（億円）＜スワップなどの評価損益を除く＞



2026年 3 月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位:千台)



ご参考 (小売)

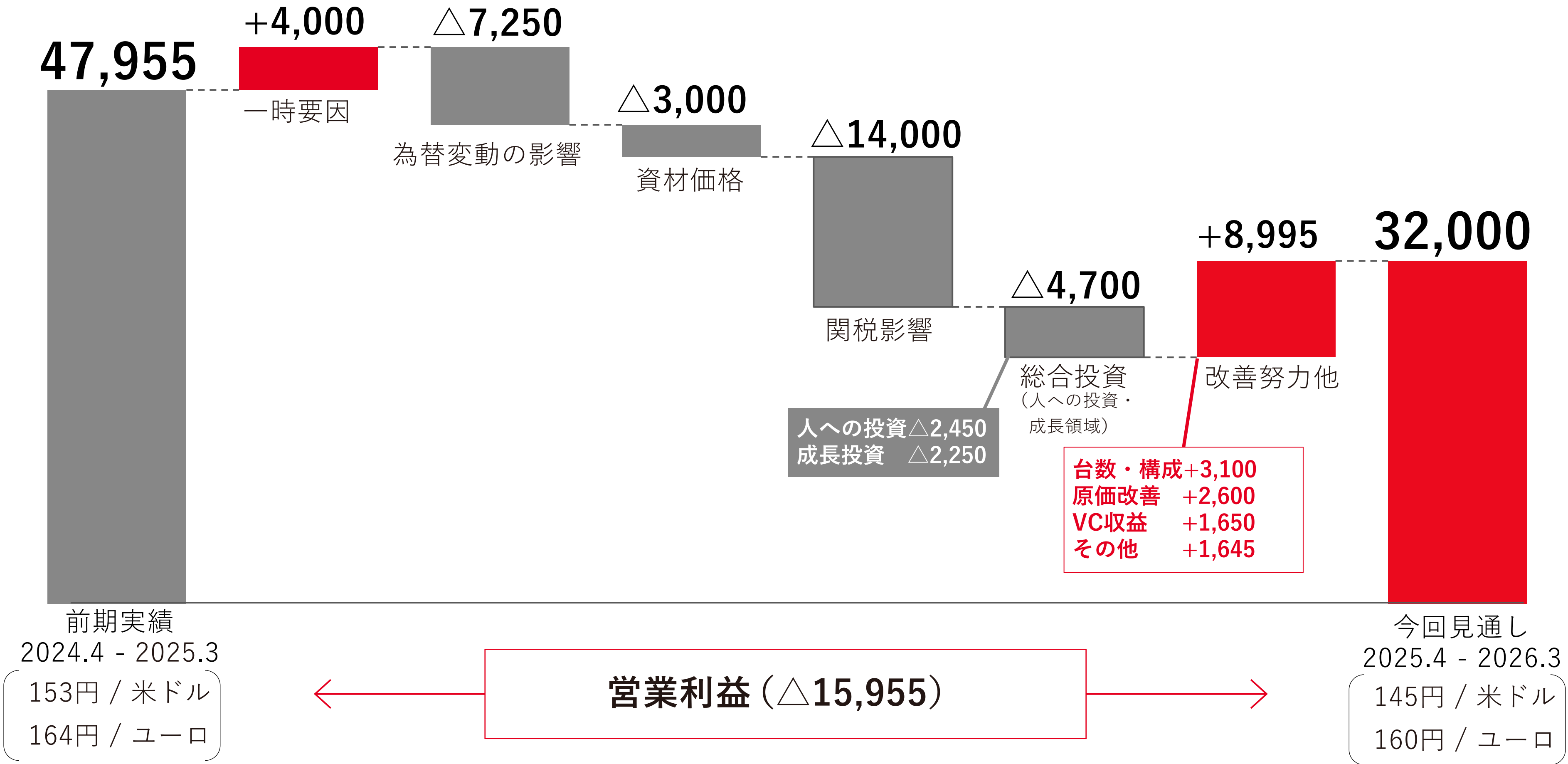
トヨタ・レクサス販売台数	10,400	10,400	100.0%	10,274
電動車[比率]	5,184 [49.8%]	5,123 [49.3%]	98.8%	4,748 [46.2%]
内、HEV	4,663	4,625	99.2%	4,441
PHEV	209	188	90.0%	161
BEV	310	308	99.4%	145
FCEV	1	1	100.0%	1
グループ総販売台数	11,200	11,200	100.0%	11,011

連結決算見通し要約

(単位：億円)		前回見通し 2025.4-2026.3	今回見通し 2025.4-2026.3	増減	前期実績 2024.4-2025.3
営業収益		485,000	485,000	± 0	480,367
営業利益		38,000	32,000	△6,000	47,955
営業利益率		7.8%	6.6%		10.0%
営業外損益		6,100	6,700	+ 600	16,190
持分法による投資損益		6,000	5,500	△500	5,912
税引前利益		44,100	38,700	△5,400	64,145
親会社の所有者に帰属する当期利益		31,000	26,600	△4,400	47,650
当期利益率		6.4%	5.5%		9.9%
1株当たり配当金		95円	95円	± 0円	90円
為替レート	米ドル	145円	145円	± 0円	153円
	ユーロ	160円	160円	± 0円	164円

連結営業利益増減要因（前期差）

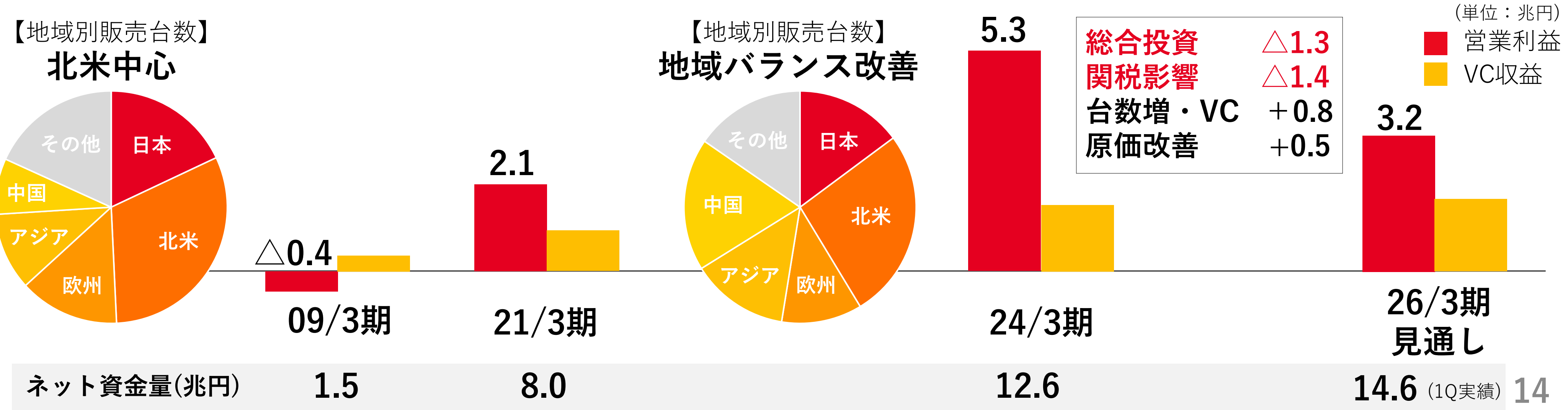
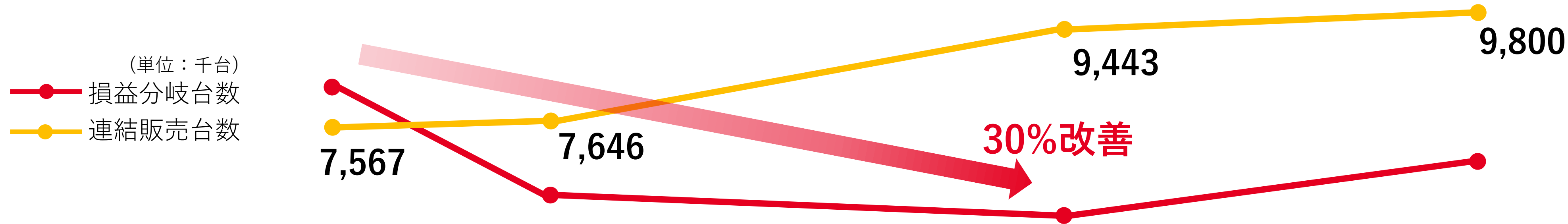
（単位：億円）



収益構造の変化

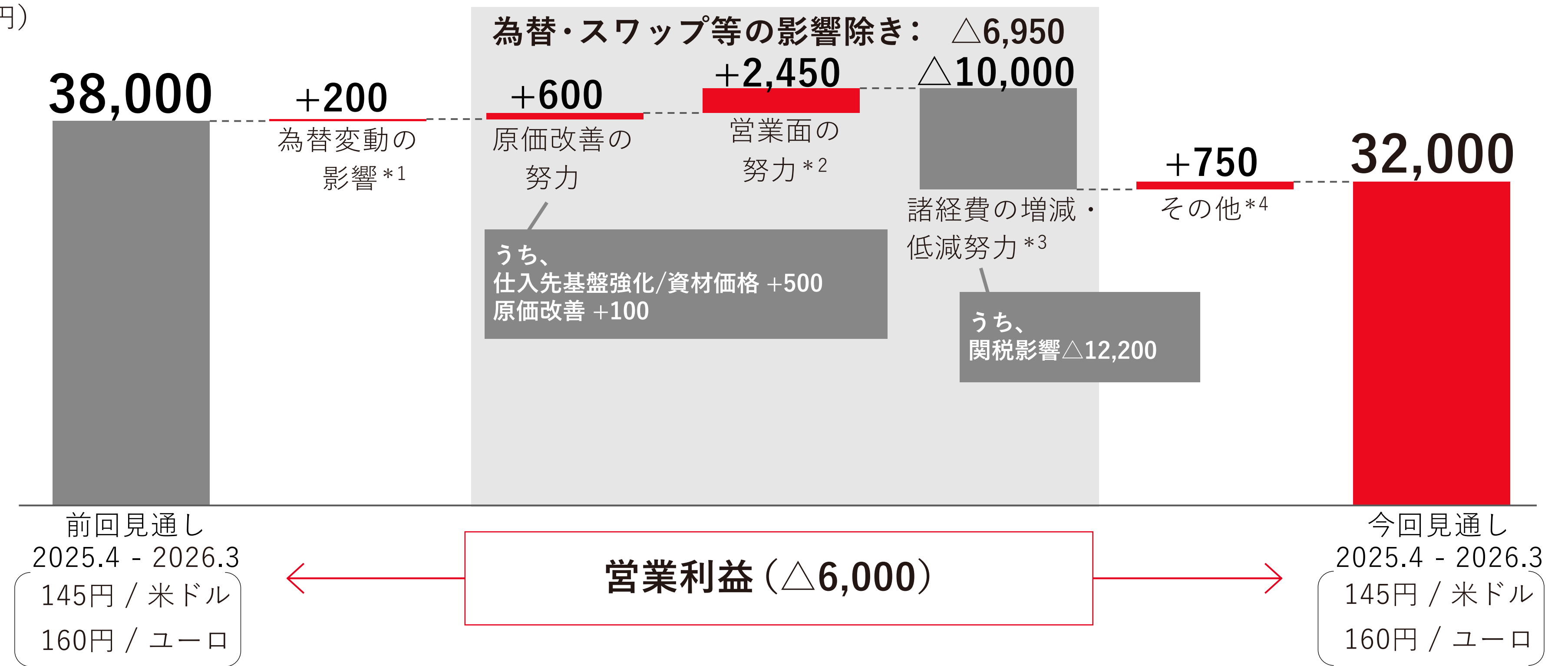
商品・地域軸経営で台数拡大、
損益分岐台数を改善

人への投資・将来への種まき 拡大
⇒ 関税影響を鑑み、稼ぐ力を更に改善



(ご参考) 連結営業利益増減要因 (前回差)

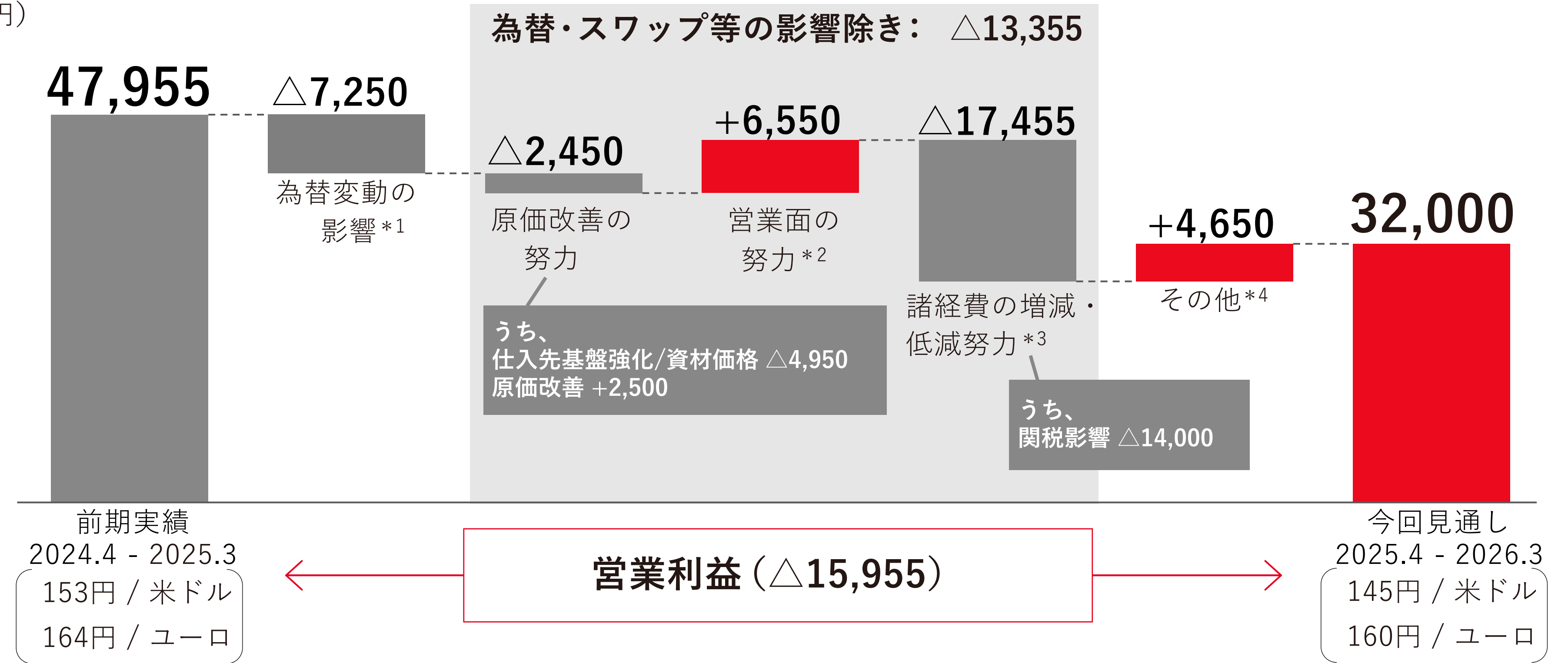
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+200	台数・構成	+500	労務費	+100	スワップ等の評価損益	+350
┌ - 米ドル	±0	バリューチェーン	+150	減価償却費	±0	インフレ会計等の影響	+195
└ - ユーロ	±0	┌ - 金融事業	+150	研究開発費	±0	日野認証関連	±0
└ - その他通貨	+200	└ 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	±0	経費ほか	△10,100	その他	+205
海外子会社の営業利益換算差ほか	±0	その他	+1,800				

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (前期差)

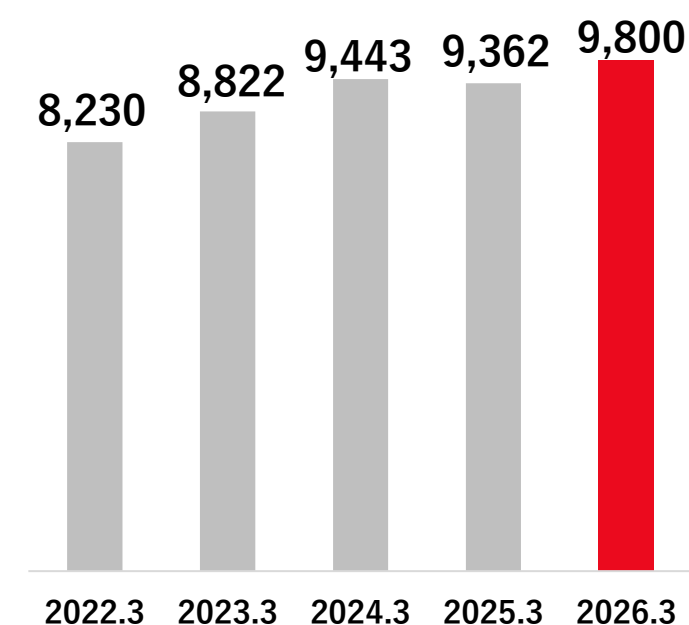
(単位: 億円)



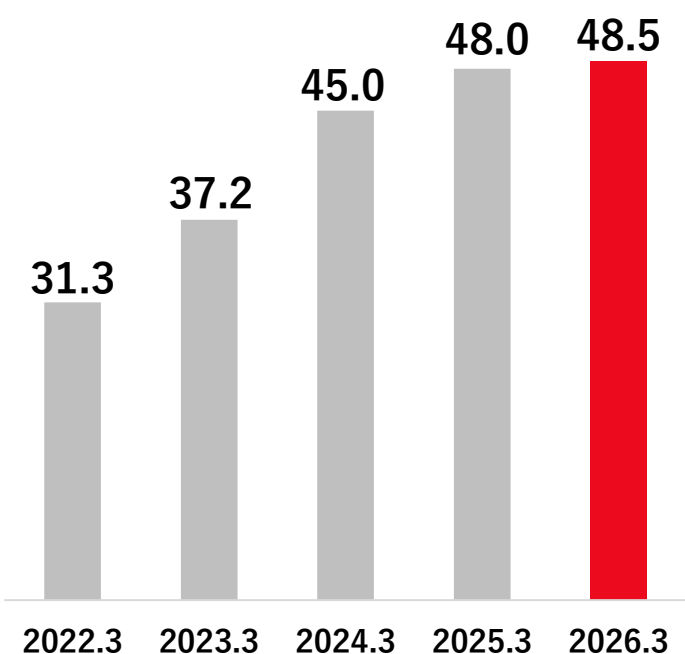
*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	△6,950	台数・構成	+3,100	労務費	△1,750	スワップ等の評価損益	+250
└ 米ドル	△4,000	バリューチェーン	+1,650	減価償却費	△1,750	インフレ会計等の影響	+534
└ ユーロ	△350	└ 金融事業	+450	研究開発費	△400	日野認証関連	+2,805
└ その他通貨	△2,600	└ 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+1,200	経費ほか	△13,555	その他	+1,061
海外子会社の営業利益換算差ほか	△300	その他	+1,800				

(ご参考) 業績推移

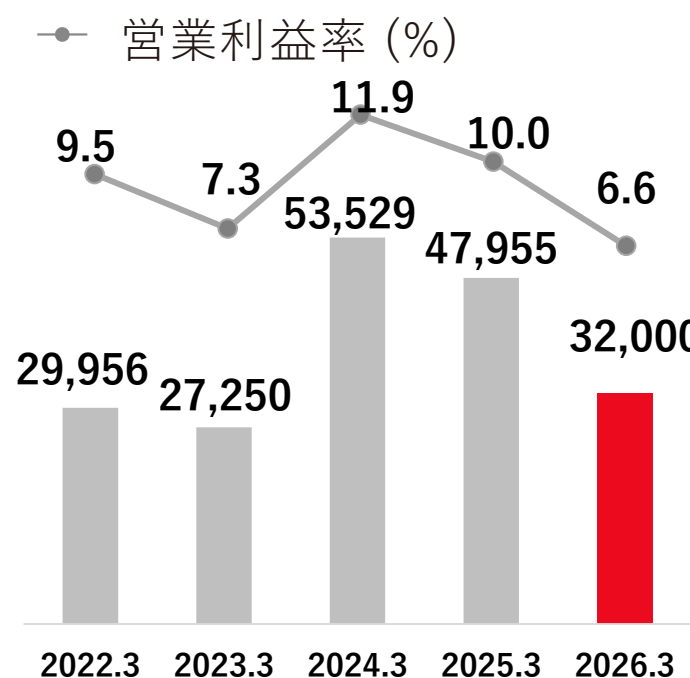
連結販売台数 (千台)



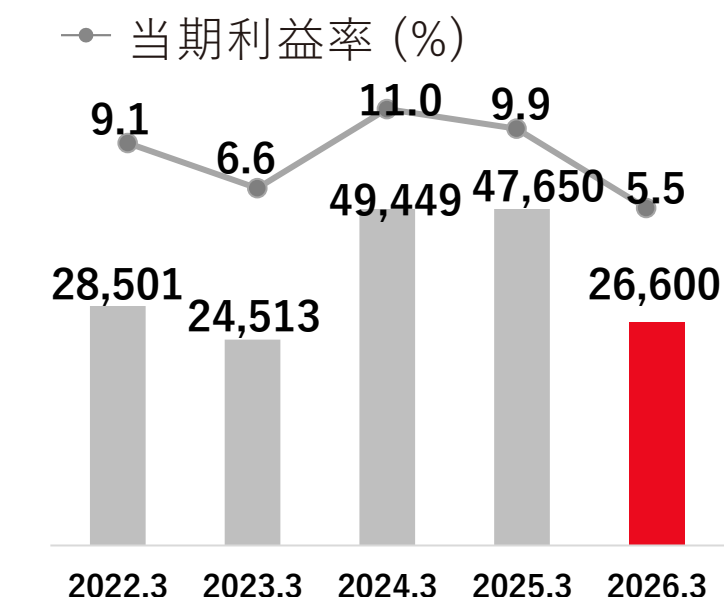
営業収益 (兆円)



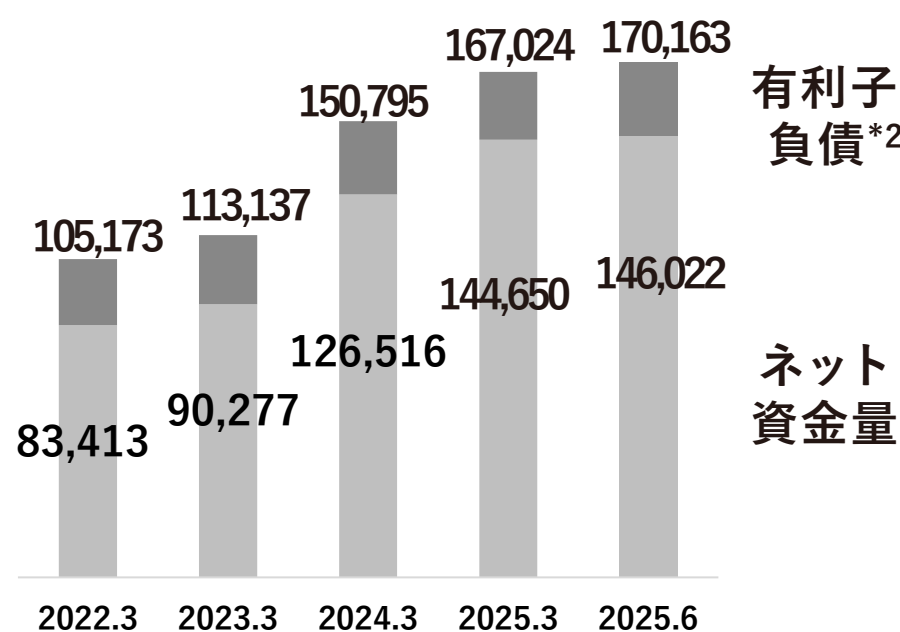
営業利益 (億円)



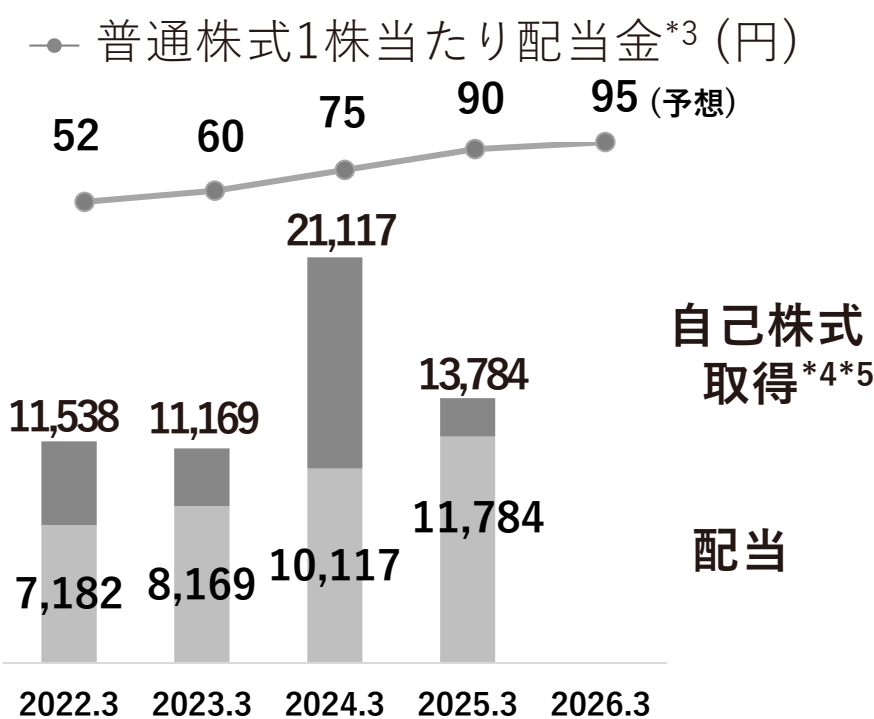
親会社の所有者に
帰属する当期利益 (億円)



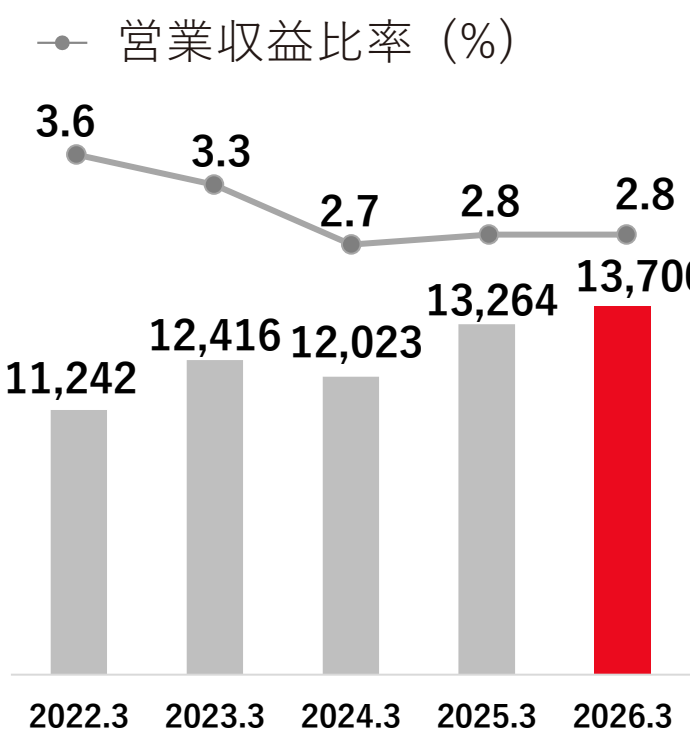
総資金量*1 (億円)



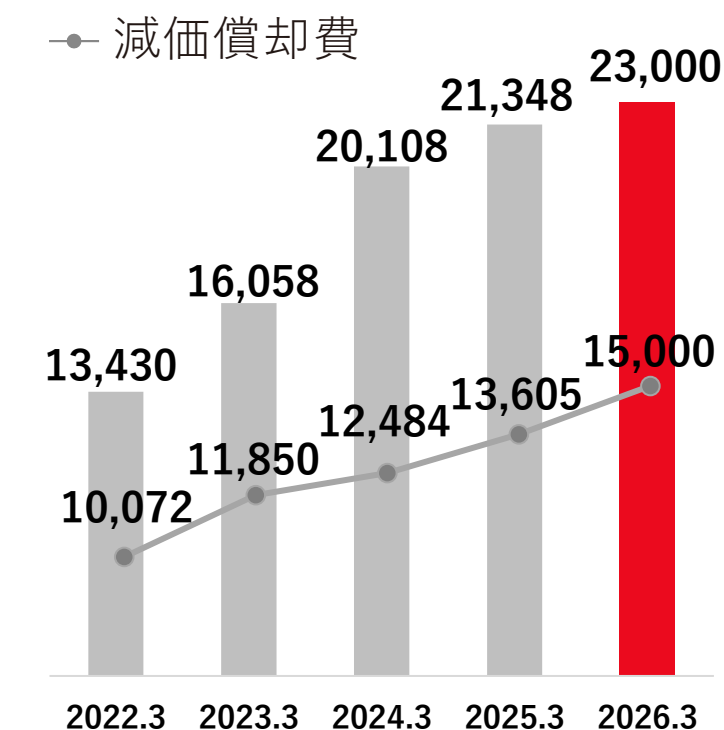
総還元額 (億円)



研究開発費*6 (億円)



設備投資*7 (億円)



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

*3 1株当たり配当額は株式分割（当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施）後ベース

*4 単元未満株式の買取請求に基づく取得および取得にかかる委託手数料を除く

*5 当該期の利益に対する株主還元（取得期間中は取得価額の上限、取得期間終了後は取得した実績を記載）

*7 減価償却費・設備投資額はリース用車両および使用権資産を除く

*2 リース債務は含まない

*6 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

■ 見通し

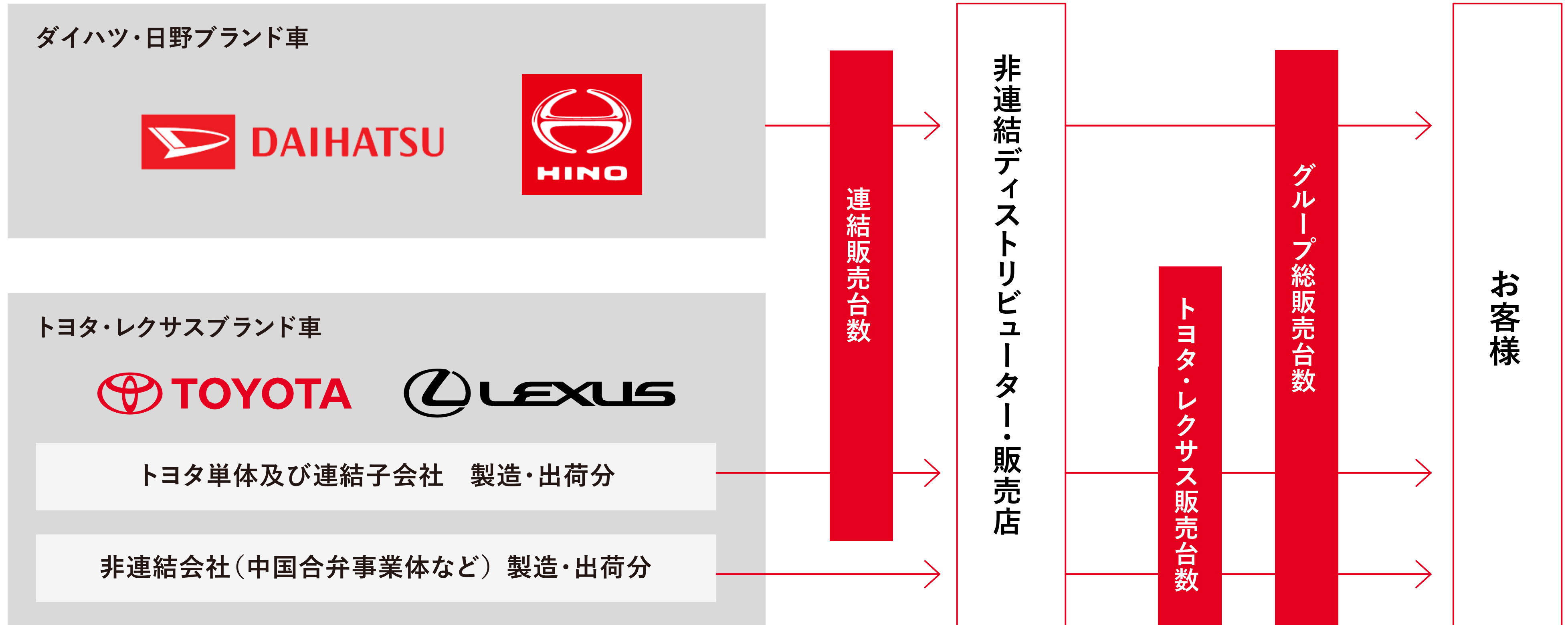
(ご参考) 台数見通し

(単位：千台)

			前回見通し 2025.4-2026.3	今回見通し 2025.4-2026.3	増減	前期実績 2024.4-2025.3
トヨタ・レクサス	生産 *	国内	3,350	3,300	△50	3,236
		海外	6,650	6,700	+50	6,443
		合計	10,000	10,000	±0	9,679
	販売 (小売) *	国内	1,500	1,500	±0	1,505
		海外	8,900	8,900	±0	8,768
		合計	10,400	10,400	±0	10,274
グループ総販売 (小売) *		11,200	11,200	±0	11,011	

* 非連結会社による台数を含む

（ご参考）販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り